

国内電通グループと合同で「SDGsビジネスソリューション」の提供開始

マテリアルコネクション東京（運営会社：株式会社エムクロッシング、所在地：東京都港区、代表取締役：吉川 久美子）は、株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：五十嵐 博）、株式会社電通テック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：松原 靖広）、株式会社電通ライブ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：孫 生京）、株式会社電通パブリックリレーションズ（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：牧口 征弘）、株式会社電通デジタル（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：川上 宗一）、株式会社電通国際情報サービス（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：名和 亮一 以下、「ISiD」）の国内電通グループ各社と合同で提供する、サーキュラーエコノミーの取り組みを支援するプログラム「SDGsビジネスソリューション」に参画し11月16日からサービスの提供を開始します。

2030年のSDGs達成に向け、企業におけるサステナブル経営の実装が急務になっています。これらの企業課題に応えるために、事業戦略策定から素材選定、資源調達、デザイン、製造、サービス開発、回収リサイクルまでバリューチェーン全体のコンサルティングと、各プロセスにおける戦略的なコミュニケーションのサポートを行うソリューションが開発されました。

SDGsのビジネス化・情報発信を行うSDGsコンサルタント約30人を擁する、電通グループ横断の専門組織「電通Team SDGs」を中心に、国内電通グループ各社とマテリアルコネクション東京が得意分野で協同することで、企業が自社のみでは難しかった回収リサイクル企業などとの連携を推進する「つなぐ力」、世界最新のサステナブル素材の調達から製品開発まで行う「つくる力」、その活動を社内外へと効果的に広げていく「伝える力」によるサポートを実現。収益につながるSDGsを目指した、サーキュラーエコノミーの構築支援を本格的に行います。

■ 「SDGsビジネスソリューション」の取り組み領域と各社の役割



■ 「SDGsビジネスソリューション」のメニューと特長

企業のコンディションに合わせて、全体ソリューション・部分ソリューションの提供が可能。

①事業戦略に基づくサステナブルロードマップの作成

SDGsの視点から経営戦略や事業、商品戦略を見直し、中長期的なロードマップを作成。世界の情勢や規制、消費者意識を捉え、柔軟に対応する持続可能なソリューションの道筋を描く。

②商品の素材の選定やデザイン、製造開発

商品を素材から見直し、サステナブルの視点から最適な素材を選定し、企画・デザインする。商品の開発・製造も可能。

③商品提供の仕組み構築／販売後の回収やリサイクル、アップサイクルの仕組み構築

サーキュラーエコノミーに求められる商品提供サービスの開発、販売後の容器回収やサイクルシステムなど、バリューチェーン全体にわたる仕組みを構築。

④サーキュラーエコノミーを実現するDXの導入

サーキュラーエコノミーを継続的に、モチベーションを持って消費者も巻き込んで動かしていくため、インセンティブ設計も含めた良質な顧客体験を生むDXを導入。

⑤理解と共感を目的とした戦略的な情報発信

SDGsへの取り組みに対する社内外の賛同者を増やし、持続的かつ大きな動きに結び付けていくため、それぞれのプロセスで戦略的に情報を発信。

【本件に関するお問い合わせ先】

Material ConneXion Tokyo（運営会社：株式会社エムクロッシング）

Mail:infojapan@materialconnexion.com Tel:03-6721-1780 担当：松本